



第三回全国女性消防操法大会 「地方初」秋田市で開催される



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

第二三回全国女性消防操法大会 (主催:消防庁・(公財)日本消防協会) は、九月三〇日(土)に秋田市新屋町「向浜運動広場駐車場(こまちスタジアム駐車場)」において、県内外から五千人(主催者発表)が参加して行われました。

本大会は、第一回の開催から前回大会まで、横浜市を会場に行われており、「初めての地方



- ◇大仙市女性消防隊
- 隊長 一色 順子
 - 指揮者 佐藤 久子
 - 一番員 茂木 未来
 - 二番員 相馬 静華
 - 三番員 伊藤 優子
 - 四番員 鈴木美也子
 - 補助員 佐藤美佳子

大会」となりました。また、三大会連続出場の本県代表「大仙市女性消防隊」は目標

平成二十九年全国統一防火標語
火の用心
ことばを形に
習慣に

にかほ市女性消防団員



ていた本県女性消防団員には大変残念な結果となりましたが、この日のために練習を重ねるなど、本大会へ

としていた入賞にはとどきませんでした。その健闘に對しても大きな拍手を送りたいと思います。

当日は豪雨や雷鳴のため操法競技が一時中断し、予定していたアトラクションが中止になり、出演することになっ



鹿角市女性消防団員

の参加に向けて各団員は貴重な体験ができたものと思われまます。

■防災展・物産展
「地域を守る秋田・消防防災展」(出展一社)や「消防団交流秋田・物産展」(出展二社)を開催し、大会を大いに盛り上げました。



■ 激励交流会

大会前日の九月二十九日(金)には、「秋田キヤッスルホテル」(秋田市中通)において、女性大会としては初めてとなります、「激励交流会」が開催されました。

各都道府県の選手をはじめ、消防関係者等約八〇〇人が出席しました。



大会スナップ



佐竹秋田県知事



稲山消防庁長官



秋本日消会長



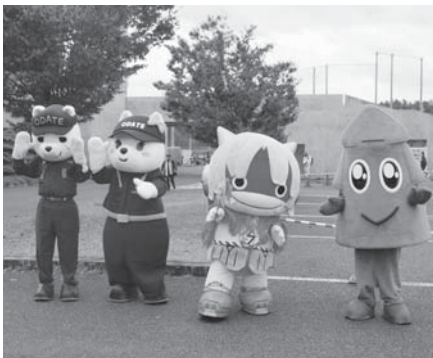
選手宣誓 (福岡県代表)



中田秋田県協会長



穂積秋田市長



「んだッち」ほか



消防太鼓隊



大仙市女性消防隊

平成二九年秋の叙勲・褒章
第二九回危険業務従事者叙勲

平成二九年秋の叙勲・褒章及び第二九回危険業務従事者叙勲の受章者が一月三日(金)に発令されました。

本県の消防関係では、秋の叙勲で二一名、褒章一名、危険業務従事者叙勲で九名が受章されました。十一月六日(月)午後二時三〇分から秋田県正庁において知事の伝達式が行われました。

また、消防庁長官の伝達は、秋の叙勲が一月一四日(火)ニッショーホール、危険業務従事者叙勲が一月一三日(月)総務省、褒章が一月一五日(水)スクワール麴町で行われ、



知事の伝達式

それぞれ叙勲・褒章伝達後、皇居において拝調が行われました。受章者の皆様、誠におめでとございます。

平成二九年秋の叙勲

◆瑞宝単光章(二一名)

- 元西木村消防団 分 団 長 蘭 藤 幸 男
- 元大館市田代消防団 分 団 長 岩 淵 鐵 夫
- 元八竜町消防団 分 団 長 梅 田 貞 夫
- 元男鹿市消防団 分 団 長 小 山 田 武 夫
- 元五城目町消防団 分 団 長 小 玉 勝 藏
- 元仙北市消防団 分 団 長 小 林 勝 一
- 元由利本荘市消防団 分 団 長 今 野 英 勝
- 元秋田市消防団 分 団 長 佐 々 木 勲
- 元大仙市消防団 副 団 長 佐 藤 一 夫
- 元横手市雄物川消防団 副 団 長 佐 藤 楯 美

- 元北秋田市消防団 副 団 長 柴 田 一 夫
- 元大仙市消防団 副 団 長 菅 原 忠 芳
- 元湯沢市消防団 分 団 長 高 橋 廣
- 元大館市大館消防団 分 団 長 武 田 重 悦
- 元八郎潟町消防団 分 団 長 谷 村 光 雄
- 元秋田市消防団 分 団 長 富 野 博 一
- 元平鹿町消防団 副 団 長 新 山 昭
- 元羽後町消防団 分 団 長 藤 原 一 衛
- 元由利本荘市消防団 副 団 長 藤 原 鐵 夫
- 元潟上市消防団 副 団 長 間 杉 重 治
- 元横手市十文字消防団 團 長 和 泉 芳 美

第二九回危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章(九名)

- 元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 浅 利 民 芳
- 元横手市消防本部 消防司令長 碓 石 直 司
- 元五城目町消防本部 消防司令長 伊 藤 隆
- 元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防 監 大 村 勲

◆紅綬褒章(一名)

人命救助者

秋田市牛島 石 井 政 人

平成二九年秋の褒章

- 元男鹿地区消防一部事務組合消防本部 消 防 監 加 賀 邦 正
- 元湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 近 藤 久
- 元能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防司令長 佐 藤 友 規
- 元鹿角広域行政組合消防本部 消防司令長 沢 田 正
- 元由利本荘市消防本部 消防司令長 畑 澤 農 富 和



第13回 消 防 団 員 意見発表会(三)



阿部 真樹

・鹿角市消防団
団員
・勤続九年
・建設業

学生時代から野球を続けており、運動神経は抜群であります。今後も若い団員のリーダー的存在、模範となり活躍が期待されています。

「消防活動と

地域コミュニティ」

早いもので入団してから一〇年近くが経ち、その間三度操法大会に出場し、順調に消防団活動に従事してきました。今後、操法大会は何年か休み、班長になったら二、三度指揮者をやりたい、五〇歳を過ぎた頃に無事に退団し、退職金で嫁さんとゆっくり旅行でもしようと思手に消防団活動の自分なりのプランを描いています。

しかし、ふと気づくと最近若い団員がほとんど入団しておらず、このままではもう二、三度、もしかしたら五〇歳を過ぎてからも、団員として操法大会に出場しなくてはならな

いのではないかとという危機感を持つようになりました。

今年に関しては「選手と今回の発表会とどっちをとる。」と言われ、予選なしの一回勝負のため、動機は不純ですが、こちらを選びこの場に立っています。

では、なぜ団員が入ってこないのでしょうか？

私が入団したころは、分団長と部長が我が家に来て「次の順番はオメだから来月から消防だ。」と言われ、当時「お断りします。」や「もう少し待って。」といった返事の選択肢はなく「よろしく願います。」と言うしかありませんでした。

しかし、我が地域では以前より地元に残るかUターンして帰ってきたら青年会活動から始まり、そして順番が来たら消防、そしていざれ自治会の役員になるというのが暗黙の了解で決まっていたため、何の疑問もなく入団しました。

消防団は特に年齢制限もないため、以前は地域内の二〇代から五〇代前半のほとんどの男性が所属しており、普段交流のない人達とも一緒に訓練大会のために練習し、何かと言えば懇親会で絆を深め、相当な時間を共に過ごすことにより、消防のことばかりではなく、地域の色々なことについても議論しあえる一つの

大事なコミュニティの場所でした。

しかし、よく考えてみると近年地域の皆さんの消防団に対するイメージが、もしかしたら芳しいものではないのかもしれない。うちの妻も「そんなにちよくちよく集まってよく話すことがあるな。」と言いますが、実際には訓練期間以外は「ちよくちよく」というほど集まっているわけではなく、一回の集まりの中身が濃いためそう思うのでしょうか。

そういったイメージが定着しているのであれば、真摯に受けとめ改善していかなくてはならないでしょう。それと同時に、いかに消防団活動が重要でやりがいのあるのだということも発信していく必要があると思います。もちろん、地域の皆様の理解があつてはじめて消防団活動が成り立つのも事実です。こうしたことに取り組むことによつて、いざれ新入団員の確保にも繋がるのだと思います。

私の消防人生はおそらくまだまだ続くと思われまふ。消防を通じ、地域のため、家族のため、そして何より自分自身としてさらに成長できるように日々努力して参りたいと思ひます。

ご静聴ありがとうございました。



武石 孝夫

・上小阿仁村消防団
団員
・勤続一七年
・会社員

運送業を仕事にしているため、普段消防団活動にあまり参加できていないのですが、今回は良い機会をいただき感謝しています。

「団員減少による消防団

活動の有り方について」

平成一二年、上小阿仁村消防団に入り、今年で一七年目になりました。秋田県の人口も今年四月には一〇〇万人を割り込み、消防団員数も過去最小になっているそうです。

我が村は、平成の合併の際、単独村としての道を選択し、消防団も六分団から五分団に編成されました。団員数の減少は今深刻な問題です。合併前から行われている、消防団の活動、各種技能訓練や大会への参加は、団員数の減少に伴い、各分団、個人に少なからず負担になっているように思います。

そのためにも、新入団員の勧誘は今絶対不可欠です。一〇年前、私は地元集落の青年会に入っていました。その当時も会員が毎年減少し、定年を延長したりしましたが、会員の勧誘も良く行われず、現在は二名だけ

ての消防団とは。活動を通して、沢山のことを考えさせられます。このことは決して無駄ではありません。地域の皆さんとともに歩んで行きたいと思えます。



戸塚 徹

井川町消防団
班長
勤続一四年
看護師

ポンプ操法の部では自ら率先して選手を引き受け、団の士気高揚に貢献するとともに、地元住民の信頼も厚いものがあります。

「小さな町の消防団」

皆さんは井川町をご存知でしょうか。秋田市から車で三〇キロ程北上した場所にある小さな町です。面積では二五市町村中、二四位、人口は二位と、県内でも下から数えた方が早い位小さな町です。

私が入団したのは一五年前、父の親友でもあり、父が他界してからは私を息子のように面倒みてくれた方からの誘いでした。「消防さ入れ。何も特別なこともないし、名前だけでもいいがら」と。今思えばどこに父親や同年代も入団していたことも

あり、断る理由もなく「うん、入る」と軽い気持ちでの入団でした。

入団から半年後、操法大会のメンバー選考の会合中「徹、おめえ三番員な、若いんだから選手やらねばねんだ」と半ば強引に選手にされてしまいました。練習が始まると、当然の如く分からないことばかり、気を付け、休めをひたすら繰り返して、練習後の反省会と称した酒の席でも、畳の縁に立ち、集まれの練習の日々でした。そのお陰もあつてか初めての大会出場が優勝、それから操法が楽しく思えるようになり、消防団自体も楽しいものだと感じられるようになりました。翌年は分団初の三番員減点ゼロを目標に練習に取り組んでいたものの、大会一週間前に左手中指、薬指先端粉碎骨折と怪我をしてしまい出場できなくなりました。その時「俺が代わりにやる。誰かが出来なくなったら、他がサポートするんだ」と急遽大会に出場してくれた部長の言葉、行動が頼もしく有難く思え、益々消防団が好きになりました。

それから数年後、仕事の都合で町から離れることがありましたが、分団の一員でありたいとの思いと、分団としても人員減少は避けたいとの思いがあり、それこそ名前だけの団員になってしまいました。離れていたこともあり、防火週間にも参加出来ず操法大会にも出場できませんで

したが、正月の各家々への挨拶回りは必ず参加するようにしました。「明けましておめでとう、今年も来たなよろしくな」部落の方々が声をかけてくれ、時には熱燗とがっこを用意して招き入れてくれます。毎年元旦恒例の挨拶回り、部落の人達の元気な姿を確認するとともに、私たち消防団員も元気を分け与えて貰っているような思いもあり、この人達を守るためにもあの時退団しなくて良かった、続けさせてくれて良かったと感謝しております。

近年、消防団員の人員不足、新入団員が少ないことで頭を悩ませている所が多いと思います。当然ながら我が町でも、団員不足がネックとなっており、私の所属する分団もここ数年新入団員がなく、一三人しかおりません。他の分団では、一〇人を下回る所もあり、人員不足は深刻なものとなつている現状です。町全体でも年々人口が減り、若者は町外、県外へと行く中で今後の人材確保のためにどのようなことをするべきなのかが課題です。

団員それぞれ温度差はあると思いますが。仕事や家庭があり、なかなか参加できない人もいるのも事実です。消防団というボランティアである以上、強制することも出来ないと思いますが、今日このように全県各支部から団員の皆様が集まり、体験、意見

を聞いているように、これをもっと細かく各支部内、市町村内での意見交換や交流会を開き、幹部のみならず団員同士のコミュニケーションを作るのも団員の意識向上、更には消防団の発展には必要になるのではないかと思います。



旗ヶのれん 団員専用
・帯・ツケ 旗・ゼツケ
・天・タオ 旗・タオ
・半・タオ 旗・タオ
防勝・タオ 旗・タオ
優手・タオ 旗・タオ
旗幕

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

第七期 女性消防団員教育

秋田県消防学校



第七期女性消防団員教育は、一月二八日(土)、二九日(日)の二日間、秋田県消防学校(由利本荘市岩城)において県内七消防団から一三名が参加して行われました。

入校式で、秋田県消防協会海野達雄副会長は、「女性消防団員は本県においても年々増加しており、五年前と比較し、女性団員を採用している

消防団は六団増え二三団となり、団員数も三九一人と一七〇人の増となっている。

また、消防活動においても、地域住民の安心・安全に対する関心の高まりなどで、その内容も多様化、専門化してきており、とりわけ女性消防団員には独り暮らしの高齢者宅の訪問、住民に対する防災教育や応急手当の普及指導の面での活躍が期待されている。



このような中、当協会では、全県の女性消防団員を対象とした教育訓練が必要と考え、秋田県のご支援と、秋田県消防学校のご協力を得まして、平成二三年度からこの研修を実施しているものである。

二日間と限られた時間ではありませんが、折角の機会ですので、参加された仲間との交流を深められ、実り多い研修になりますことをご祈念申し上げます。」と述べられました。

■研修内容

講話 (県消防協会副会長)
消防活動訓練

(訓練礼式、消火訓練、放水要領、ホース延長、結索要領、煙体験、地震体験)

救急訓練 (応急手当講習)

各団の活動紹介

意見交換

■受講者名簿

大館市	団員	藤島 睦子
大館市	団員	近藤由起子
北秋田市	団員	畠山 由縁
由利本荘市	団員	田中みつ江
由利本荘市	団員	鈴木 朱里
大仙市	班長	一色 順子
大仙市	団員	片岡由美子
仙北市	団員	辻 薫
横手市大森	団員	讃岐 裕子
横手市大森	団員	平元沙恵子
湯沢市	団員	後藤 綾
湯沢市	団員	店網 華子
湯沢市	団員	柿崎 エリ

☆受講者のアンケート

最年長ということで、総代に任命されましたが、任務を終えることができ満足しております。

地域に帰って報告し、団員として勉強したことを他の団員に伝えていきます。

また、地域を守っていきます。

ご指導ありがとうございました。

(大館市消防団 近藤由起子団員)

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32) 3880
FAX (0182) (32) 0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ | キンバイホース
トーハツポンプ | シバウラポンプ
各種消防機械器具 | 各種消火器
消防設備保守点検

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

総合防災設備センター

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
消火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183) (42) 2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183) (73) 2588

支部情報アラカルト

「第三回全国女性消防操法大会 アトラクションへの参加について」

〓 仙北市消防団 〓

去る九月三〇日(土)に秋田市の向
浜運動広場駐車場(こまちスタジア
ム駐車場)にて、第三回全国女性消
防操法大会が開催されました。

この大会において、操法の競技終
了から表彰式が始まるまでの催し物
として、女性団員によるアトラクシ
ョンが実施される予定となっており
ました。これは県内各支部から女性
団員数名の代表チームを構成し、全
国から来場されている消防関係者の
皆様に訓練指導やその状況を紹介及
び展示するものです。

先の関係者打合せにおいて、大曲
仙北支隊からは代表チームとして
仙北市女性消防団より六名の団員
が参加し、応急担架作成を兼ねた搬
送訓練のアトラクション披露を担当
することが決定しました。その後は
地元の消防署の皆様から応急担架の
作り方や搬送法についてご指導頂い
たり、秋田市消防本部からは講師の
派遣を頂いて本番当日の動きについ
て綿密な打合せを行ったり等、日々、
本番に向けて練習を重ねてきまし
た。

大会前日には、大会会場にて本番

に向けたリハーサルが実施されまし
た。この日は平日ということもあり、
どの支部も参加できた女性団員は少
なかったのですが、熱心に最終調整
を行って居るその様子を見て、アト
ラクションに向けた強い意気込みを
感じさせられ、大仙仙北支隊の
代表チームも負けられないという気
持ちになりました。

大会当日、大勢の消防関係の皆様
の前でアトラクションを披露するこ
とに不安の表情を隠すことはできま
せんでしたが、直前までお互いの動
きをチェックし合い、今まで練習し
てきたことを何度も確認しているう
ちに緊張もほぐれ、いよいよ本番を
迎えようとしていました。

と。ところが大会当日
は朝から時々激しい
豪雨と雷が
鳴り響くな
どの悪天候
となり、操
法の競技が
一時中止と
なるほどに
なりまし
た。天候の
様子を見な
がら、操法競技の全日程は無事に終
了したものの、総合的な判断からア



トラクションは急遽中止の連絡があ
り、本番に向けてモチベーションを
上げていただけに、女性団員はみな
肩をがっくりと落としていました。
今回のアトラクションは天候不良
により中止という残念な結果となっ
てしまいましたが、この日のために
仕事が終わってからなど少ない時間
の中で集まって練習を重ね、全国女
性消防操法大会という大舞台を成功
させるための一員として参加できた
ことは、女性団員として貴重な体験
ができただけでなく、今後の女性消
防団活動を進めていく上でも大きな
自信になったと思います。

〔情報提供〓大仙仙北支隊〕

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成29年		平成28年			同期比較	
	10月	累計	10月	累計	年計	10月	累計
建 物	11	141	8	157	191	3	-16
林 野	0	19	0	32	32	0	-13
車 輛	4	27	5	27	32	-1	0
そ の 他	1	47	4	53	56	-3	-6
合 計	16	234	17	269	311	-1	-35
死 者 数	1	18	1	17	22	0	1
負 傷 者 数	5	63	3	48	54	2	15

モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651